

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和2年度 技術情報第6号(早期水稻の斑点米カメムシ類)について
(送付)



早期水稻の斑点米カメムシ類について、以下のとおり取りまとめましたので送付します。
なお、病害虫防除所ホームページ (www.jppn.ne.jp/kagoshima) にも掲載しています。

令和2年度 技術情報第6号

- 1 対象病害虫** 斑点米カメムシ類 (ホソハリカメムシ, ミナミアオカメムシ, シラホシカメムシ, アカスジカスミカメ 等)
- 2 対象作物** 早期水稻
- 3 情報の内容**
 - (1) 発生地域 早期水稻地帯 (県本土)
 - (2) 発生時期 出穂期以降
 - (3) 発生量 やや少～並
- 4 予報の根拠**
 - (1) 早期水稻ほ場周辺の、主にイタリアンライグラスが畦畔雑草化したイネ科雑草地等における斑点米カメムシ類の生息状況について、6月1～2日に捕虫網によるすくい取り調査(捕虫網20回振り)を行った。
 - (2) カメムシ類の捕獲箇所率は85.7% (平年(過去5か年の平均, 以下同じ): 81.8%) と平年並み(表1), 平均捕獲虫数は4.3頭(平年:16.4頭) と平年に比べてやや少なかった(表2)。
なお、カメムシ類の種別構成比はアカスジカスミカメが最も高く、次いでホソハリカメムシ, シラホシカメムシ, ミナミアオカメムシの順であった(表2)。
 - (3) 県全体におけるカメムシ類の捕獲箇所の割合は中程度以上が10.7%で、平年(38.6%)に比べて低かった(表3)。
- 5 防除上注意すべき事項**
 - (1) 斑点米カメムシ類による斑点米の混入は米の検査等級格下げにつながり、特に早期水稻では品質低下の主な要因となる。
 - (2) 水田周辺の雑草地などが飛来源となるので、出穂の10日前頃までに畦畔の草払いなどのほ場管理に努める。
 - (3) 斑点米カメムシ類の薬剤防除については発生状況に応じた防除が必要となるが、毎年斑点米被害が多い地域では、穂揃期と穂揃期の7～10日後(乳熟後期)の2回防除が基本である。特に乳熟後期の幼虫の発生には十分注意する。
 - (4) 防除は農薬の使用基準を遵守し、薬剤が周囲に飛散しないようにする。

(参考資料)

表1 早期水稲周辺イネ科雑草地における斑点米カメムシ類の発生状況 (2020.6.1~2 調査)

調査年	2015	2016	2017	2018	2019	本年	平年 ²⁾
調査箇所数	56	56	56	56	56	56	56
捕獲箇所率(%) ¹⁾	78.6	92.9	87.5	94.6	55.4	85.7	81.8

※ 1) 捕獲箇所率(%) = $\frac{\text{捕獲箇所数}}{\text{調査箇所数}} \times 100$ 2) 平年は過去5か年(2015~2019)の平均値。

表2 早期水稲周辺イネ科雑草地における斑点米カメムシ類の種類別、地域別捕獲状況 (2020.6.1~2 調査)

地域	調査箇所数	項目	クモハリ	ホソハリ	ミミアオ	シラホシ	イネ	アカシジ	合計
			カメムシ	カメムシ	カメムシ	カメムシ	カメムシ	カスミカメ	
南 薩	2 8	平均捕獲虫数 ¹⁾	0.2	0.9	0.5	0.5	0	1.8	3.9
		捕獲箇所率(%) ²⁾	10.7	42.9	32.1	28.6	0.0	57.1	85.7
大 隅	2 8	平均捕獲虫数	0.2	1.5	0.5	0.5	0.2	1.8	4.7
		捕獲箇所率(%)	7.1	50.0	17.9	32.1	18.0	57.1	85.7
県全体	5 6	平均捕獲虫数	0.2	1.2	0.5	0.5	0.1	1.8	4.3
		種別構成比(%) ³⁾	3.4	28.4	11.4	12.3	2.1	42.4	100.0
		捕獲箇所率(%)	8.9	46.4	25.0	30.4	8.9	57.1	85.7
		平 年 ⁴⁾	1.0	1.0	0.1	0.3	0	14.0	16.4
		2019年	1.4	0.5	0.1	0.1	0	2.9	5.0
		2018年	1.6	0.6	0	0.2	0	37.4	39.8
		2017年	0.4	1.9	0.3	0.9	0	9.5	13.0
		2016年	1.2	1.1	0	0.1	0	12.6	15.0
		2015年	0.4	1.0	0	0.1	0	7.6	9.1

※ 1) 平均捕獲虫数 = $\frac{\text{総捕獲虫数}}{\text{調査箇所数}}$ 2) 捕獲箇所率(%) = $\frac{\text{捕獲箇所数}}{\text{調査箇所数}} \times 100$ 3) 種別構成比(%) = $\frac{\text{捕獲虫数}}{\text{総捕獲虫数}} \times 100$

1) 平年は過去5か年(2015~2019)の平均値。

表3 早期水稲周辺イネ科雑草地における斑点米カメムシ類の地域別、程度別割合 (2020.6.1~2 調査)

地域	調査箇所数	捕獲箇所率 ¹⁾ (%)	程度別割合(%)				
			甚	多	中	少	無
南 薩	2 8	85.7	0.0	0.0	7.1	78.6	14.3
大 隅	2 8	85.7	0.0	0.0	14.3	71.4	14.3
県全体	5 6	85.7	0.0	0.0	10.7	75.0	14.3
平 年 ²⁾	5 6	81.8	3.9	10.4	24.3	49.2	18.2

※ 1) 捕獲箇所率(%) = $\frac{\text{捕獲箇所数}}{\text{調査箇所数}} \times 100$ 2) 平年は過去5か年(2015~2019)の平均値。

※ 程度別基準 (捕虫網すくい取り20回振り虫数)

調査場所	甚	多	中	少	無
雑草地等	61頭以上	31~60頭	11~30頭	1~10頭	0